

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	環境社会学	担当教員	中谷岳史		
学年学科	第 5 学年 建築学科	前期	必修	1 単位(学修)	
学習・教育目標	(D-3、環境系) 100%		JABEE 基準 1 (1) : (d)		
授業の目標と期待される効果： 建築技術者が居住環境を論ずる場合、室内環境のみならず、室内環境に多大なる影響を与える外部環境に関する知識も必要となる。本講義では、環境に対する幅広い知識をもち、社会の中で率先して環境問題に取り組むことのできる人材育成を目標 ①持続可能な社会に向け、地球環境問題に関する知識習得 ②地球環境問題に対する社会的取り組みへの理解 ③地球環境問題と建築の関係の理解		成績評価の方法： 課題 3 回の合計 100 点満点を得点率とし、その総得点率によって最終評価とする。なお、成績評価に教室外学修の内容は含まれる。 達成度評価の基準： 各種専門書及び教科書の内容と同等レベルの問題を試験などで出題し、総合して 6 割以上の正答レベルに達していること。カッコ内は重み付けである ①地球環境問題の全体像を理解して、解決策を含めた建築設計の資料作成、発表提案できる (40%)。 ②地球環境問題の全体像を理解して要点を整理し、環境教育の資料作成、発表提案できる (30%)。 ③建築物の木材供給に関して理解できており、ウッドマイレージの計算をほぼ正確(6 割以上)に行なうことができる (30%)。			
授業の進め方とアドバイス： インタラクティブに環境への造詣を深めるため、自発的な情報収集、考えを常にまとめる。社会常識といわれる水準に自己を高めること。					
教科書および参考書： 教科書： 環境社会検定試験 (eco 検定) 公式テキスト					
授業の概要と予定：前期		教室外学修	A L のレベル		
第 1 回：環境問題の現状及び環境教育の意義		環境・森林白書に関する文献調査			
第 2 回：環境設計の資料作成		環境・森林白書に関する文献調査			C
第 3 回：環境設計の資料作成		環境・森林白書に関する文献調査			C
第 4 回：環境設計の演習発表		環境・森林白書に関する文献調査			A
第 5 回：環境設計の演習発表		環境・森林白書に関する文献調査			A
第 6 回：環境教育の資料作成		環境関連白書に関する文献調査			C
第 7 回：環境教育の資料作成		環境関連白書に関する文献調査			C
第 8 回：環境教育の資料作成		環境関連白書に関する文献調査			C
第 9 回：環境教育の演習発表		環境関連白書に関する文献調査			C
第 10 回：環境教育の演習発表		環境関連白書に関する文献調査			A
第 11 回：ウッドマイレージの説明及び計算方法の説明		森林白書に関する文献調査			
第 12 回：ウッドマイレージの演習		森林白書に関する文献調査			
第 13 回：ウッドマイレージの演習		森林白書に関する文献調査			
第 14 回：林業の持続的発展、木材産業の動向と木材利用		森林白書に関する文献調査			
第 15 回：環境問題についてのまとめ (レポートの評価方法の説明, 講評を行なう)					

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	地球環境問題の全体像を理解して、解決策を含めた建築設計の資料作成、発表提案できる(8割以上)	地球環境問題の全体像を理解して、解決策を含めた建築設計の資料作成、発表提案をほぼできる(6割以上)	地球環境問題の全体像を理解して、解決策を含めた建築設計の資料作成、発表提案ができない。
②	地球環境問題の全体像を理解して要点を整理し、環境教育の資料作成、発表提案できる(8割以上)	地球環境問題の全体像を理解して要点を整理し、環境教育の資料作成、発表提案をほぼできる(6割以上)	地球環境問題の全体像を理解して要点を整理し、環境教育の資料作成、発表提案ができない。
③	建築物の木材供給に関して理解できており、ウッドマイレージの計算ができる(8割以上)	建築物の木材供給に関して理解できており、ウッドマイレージの計算をほぼできる(6割以上)	建築物の木材供給に関して理解できており、ウッドマイレージの計算ができない。